

言語学

注意：日本語を母語としない受験者は英語で解答することも可能です。

(1) 受動化 (passivization) は一般に動詞の項の数 (結合価) を一つ減らす操作と考えられている。「私は赤ん坊に泣かれた」のような日本語の間接受動文はその一般化に対する例外と見るべきか否か、間接受動文と直接受動文との関係をどう捉えるのが適切かについて、自分の考えを述べなさい。

(2) 国際音声字母 (IPA) により表記される以下の3つの子音の発音について、気流発生メカニズム、音声器官の状態、気流の経路と状態に注目しつつ、それぞれ100字程度で説明しなさい。

(a) [x]

(b) [ʃ]

(c) [ŋ]

(3) 以下に例を挙げる言語Aでは、肯定文では主格形は無標である。人称接辞は動詞につくとその動詞の項との一致を示し、名詞につくと所有者や主語との一致を表す。肯定文は否定辞 *yuwaati* によって否定されるが、その際文にさまざまな変化が起こる。例文(1)から(6)をもとに、設問(a)(b)(c)に答えなさい。なお出題の都合上、表記は一部簡略化した。

グロスの略号は次の通りである：1: 1人称 (代名詞または人称接辞) ; 3: 3人称 (人称接辞) ; ANIM: 有生; INAN: 無生; NEG: 否定; OBJ: 目的語; PAST: 過去接辞; POSS: 所有者

(a) この言語で否定はどのように表現されるか、例文(1)~(4)とグロスをもとに記述しなさい。

(1a) niʔi abigi-kidi

1 talk-PAST

‘I talked.’

(1b) yuwaati abigi-keena-ni

NEG talk-PAST-1

‘I didn’t talk.’

(2a) niʔi pohagadi

1 doctor

‘I am a doctor.’

(2b) nigaya yuwaati pohagadi-ni

1.OBJ NEG doctor-1

‘I am not a doctor.’

- (3a) puguzi kahni-paana
dog house-in
'The dog is in the house.'
- (3b) yuwaati puguzi-ta kahni-paana-ina
NEG dog-OBJ house-in-3ANIM
'The dog isn't in the house.'
- (4a) taʔnipuzi pikee-kidi-ina momoʔo-na
man see-PAST-3ANIM woman-OBJ
'The man saw the woman.'
- (4b) yuwaati taʔnipuzi-a pikee-keena-ina-ina momoʔo-na
NEG man-OBJ see-PAST-3ANIM-3ANIM woman-OBJ
'The man didn't see the woman.'

(b) 所有の否定を表す例文 (5b) が、なぜ所有の肯定文 (5a) のように接辞 **-gadi** を持たないかを、上の例文も参考にして説明しなさい。

- (5a) niʔi kahni-gadi
1 house-POSS
'I have a house.'
- (5b) yuwaati kahni-ni
NEG house-1
'I don't have a house.'

(c) 次の例 (6a) (6b) から、この言語の否定の表し方が何に由来するかを簡潔に論じなさい。

- (6a) taʔnipuzi paykwee-kidi
man leave-PAST
'The man left.'
- (6b) pucuzogi-kidi-ika taʔnipuzi-a paykwee-na-ina
know-PAST-3INAN man-OBJ leave-OBJ-3ANIM
'I know that the man left.'

(4) 「名詞と動詞は普遍的な品詞 (語類) だが、形容詞は普遍的な品詞 (語類) ではない」という説について、自分の立場を明確に表明した上で、自分の知っている言語の具体例をあげながら、1 ページ程度で論じなさい。その際、形式的な面、意味的な面の両方から考察しなさい。

(次頁に続く)

(5) 以下の言語学用語を、例を挙げつつ簡潔に説明しなさい。

- (a) 意味論 (semantics) と語用論 (pragmatics)
- (b) プロソディー (prosody)
- (c) 適用態 (applicative)
- (d) 軟口蓋気流機構 (velaric airstream mechanism)

【以上】